



香港

ポンプだけじゃない、トリシマの底力。 プラントメーカーとして、水インフラを支える。

700万人の人口をカバーできるだけの水がなく、水需要の70%以上を中国本土に依存している香港。その貴重な水を街のすみずみまで届けるため、トリシマはポンプを提供するのはもちろん、プラント全体をコーディネートするプラントメーカーとして、香港の水インフラを支えています。

深圳 (中国)
(Shenzhen)

Muk Wu 'C' P/S (送水ポンプ場)

トリシマポンプ: 12台

香港北部と深圳(中国)との境に位置し、香港の飲み水の玄関口となっているポンプ場。ここから香港各地の配水ポンプ場や貯水池に送水され、浄水場を経て各家庭へと送られます。



サージタンク

こんなところにもトリシマポンプ



香港のビル群



ビル設備用ステンレス製給水ポンプ

香港国際空港
(HK International Airport)

大嶼山
(LanTau Island)

Pui O P/S

Stonecutters Island Main Sewage P/S (下水中継ポンプ場)

トリシマポンプ: 8台

九龍地区及び香港島ほぼ全域の下水を、総延長70kmの大深度地下トンネルによりStonecutters Islandに集め、集中処理するプロジェクトの主要ポンプ場の一つです。



Lamma Power Station (石炭火力発電プラント)

トリシマポンプ: 53台

発電能力: 3,736MW

Tai Po Tau Pumping Complex (配水ポンプ場)

トリシマポンプ: 13台

香港最大の配水ポンプ場で、Muk Wu 'C' ポンプ場から主流となるルートの中核をなすポンプ場です。



香港のライフラインは
トリシマポンプが
支えてるんだ~



主要送水・配水ポンプ場

主要下水送水ポンプ場